

平成 27 年度第 4 回秦野市廃棄物対策審議会概要

- 1 日 時 平成 28 年 2 月 23 日（火）午後 3 時～午後 3 時 10 分
- 2 場 所 秦野市役所本庁舎 3 階講堂
- 3 出席者 13 名（欠席者 1 名）

東海大学教養学部人間環境学科特任教授	原田 一郎 氏
東海大学教養学部人間環境学科准教授	小栗 和也 氏
多摩大学グローバルスタディーズ学部教授	橋詰 博樹 氏
東京地方税理士平塚支部	草山 美博 氏
秦野市商店会連合会	中島 正彦 氏
神奈川県宅地建物取引業協会	
湘南中支部秦野地区	郡司 文夫 氏
秦野市自治会連合会	前田 弘和 氏
秦野市 P T A 連絡協議会	中津川 恭子氏
秦野市農業協同組合	小泉 裕子 氏
秦野市食生活改善推進団体	古谷 典子 氏
公募市民	小林 裕子 氏
公募市民	大塚 満津子氏
公募市民	松岡 守 氏

4 会議概要

(1) 秦野市ごみ処理基本計画改定に伴う審議事項の反映状況について

ア 委員からの意見 1（資料 2）

人口の推移について、現行のごみ処理基本計画では、平成 21 年度が人口のピークとなっており、変更する人口の推移の表現は、「平成 22 年がピーク」となっていますがどういった理由からでしょうか。

イ 意見 1 に対する事務局からの回答

時点の違いによるものであると思われませんが、変更する表現は、総合計画後期基本計画（案）を引用しています。確認して整合を図ります。

ウ 委員からの意見 2（資料 2）

No.6 で、デスポーザーの補助件数はどれくらいですか。

エ 意見 2 に対する事務局からの回答

1 月末現在で、8 台の補助をしています。

オ 委員からの意見3（資料2）

目標はどれくらいですか。

カ 意見3に対する事務局からの回答

今年度の予算は、20台分を予定しています。

キ 委員からの意見4（資料2）

私たちの団体では、本町公民館を利用しているが、ディスプレイが4台設置されています。一般の方たちと一緒に調理実習をしますが、一般の方は、まだディスプレイの使い方がわからないため、三角コーナーに生ごみを入れてもらい、団体の者がディスプレイで処理しています。年配の方が多く、使い方がわからないと、はじめは怖いという印象を持っています。

ク 委員からの意見5（資料2）

ディスプレイの有効性や使い方などを、デモンストレーションを交えて、情報発信する必要があると思います。

ケ 意見4、5に対する事務局からの回答

配布した「ごみ減量・資源化ガイド」のP8でも、ディスプレイの写真を掲載し、紹介しています。

コ 委員からの意見6（資料2）

設置費用はどれくらいかかりますか。

サ 意見6に対する事務局からの回答

工事費用を含めて、13～14万円程度の費用がかかり、最大で5万5千円の補助が受けられます。

シ 委員からの意見7（資料2）

No.14で、「ごみの資源化」に、ディスプレイの記載がありますが、ディスプレイは資源化に該当しますか。

ス 意見7に対する事務局からの回答

ディスプレイは、生ごみの減量に該当しますので、該当する項目に移動します。

セ 委員からの意見8（資料2）

ディスプレイの啓発をもっと行った方がよいと思います。

ソ 意見8に対する事務局からの回答

現在、市役所本庁舎の正面玄関に、生ごみ処理機の展示や補助金の紹介のコーナーを設置しています。また、広報や地域情報誌を通して、啓

発を行っていますので、引き続き啓発を進めていきます。

タ 委員からの意見 9 (資料 2)

積極的に進めてもらいたいです。

チ 委員からの意見 10 (資料 2)

ディスポーザーの普及について、今は台数が少ないので、水質の問題にはならないと思いますが、将来的に普及が進んだ場合、水質汚濁の問題にはならないのでしょうか。

ツ 意見 10 に対する事務局からの回答

現在、ディスポーザーを設置できるのは、市内でも中央処理区に限られます。処理できる容量についても、将来的な予測を踏まえ、今後お示しいたします。

テ 委員からの意見 11 (資料 2)

ディスポーザーで処理した生ごみは、水で流すことになりますが、流すときに、どれくらいの水道量が必要になりますか。水も資源であり、水道料金も上がるため、主婦としては、そういった情報も知りたいです。

ト 委員からの意見 12 (資料 2)

ディスポーザーを推奨していくには、処理容量や水道量などもしっかりと伝えていかなくてはならないと思います。

ナ 委員からの意見 13 (資料 2)

No. 24「刈り草の資源化」について、具体的な資源化策はありますか。

ニ 意見 13 に対する事務局からの回答

平成 28 年度から公共施設の維持管理で出た刈り草については、肥料の一部として、資源化を実施する予定です。

ヌ 委員からの意見 14 (資料 2)

家庭から出る刈り草の量はどれくらいですか。

ネ 意見 14 に対する事務局からの回答

平成 22 年度に実施したごみの組成分析によると、可燃ごみのうち、12.25%が刈り草となっており、平成 26 年度の可燃ごみの実績に換算すると約 3,800 トンとなります。

ノ 委員からの意見 15 (資料 2)

家庭ごみで、刈り草を分別した場合、収集も別にやるのですか。

ハ 意見 15 に対する事務局からの回答

可燃ごみの日になるか、他の資源物の日に収集するかは、今後検討し

ていきます。

ヒ 委員からの意見 16（資料 2）

その場合、収集運搬の費用が別にかかるのですか。

フ 意見 16 に対する事務局からの回答

収集運搬費用が一番かかってきます。焼却よりも資源化は、費用がかかってしまいます。

ヘ 委員からの意見 17（資料 2）

No.18 と 19 で、生ごみ処理機とコンポストの記載があるが、内容が類似しているなので、1 つにまとめた方が良いと思います。

ホ 委員からの意見 18（資料 2）

計画の P 19 表 10 の検討中・未実施事業について、資料の説明で、「ごみの有料化等の検討」と「ごみ焼却施設 90 / 日焼却施設の更新の検討」は、内容を変更し、未着手事業から検討中事業に移行する説明がありました。その他の「事業系ごみ処理手数料の見直し」と「プラスチック製品の資源化の研究」は、未着手事業のままとなるのですか。

マ 委員からの意見 19（資料 2）

必要性があるから計画にのっていると思いますが、未着手のままにしておいてよいのですか。

ミ 委員からの意見 18、19 に対する事務局からの回答

事業系ごみについては、現在、市で公共施設の手数料の見直しを行っているため、そういった機会に見直しを検討しなければならないと考えています。また、プラスチック製品の資源化の研究については、議会においても、プラスチックのおもちゃを資源化できるのではないかとの話もいただいております。海老名市では資源化をしているとのことですので、本市でもどこまでできるか検討しています。

ム 委員からの意見 20（資料 2）

検討しているのであれば、「未着手」ではなく、「実施準備中」と「検討中」の事業に区分したらどうですか。

メ 委員からの意見 20 に対する事務局からの回答

表記の仕方については、もう一度検討します。